

製品名: MAPK オーガナイザー 1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13632**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	34kDa

抗原情報

遺伝子名	WDR83
別名	WDR83; MORG1; WD repeat domain-containing protein 83; Mitogen-activated protein kinase organizer 1; MAPK organizer 1
遺伝子 ID	84292.0
SwissProt ID	Q9BRX9
免疫原	抗血清はヒト WDR83 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190

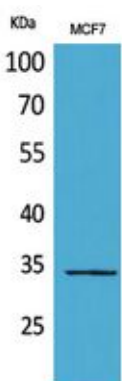
背景

この遺伝子はWD-40タンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は、様々な多量体タンパク質複合体の分子足場として機能することが提案されています。このタンパク質は、細胞外シグナル調節キナーゼ (ERK) 経路のいくつかの構成要素と会合し、血清やその他のシグナルに応答して ERK 活性を促進します。また、EGL9 ホモログ 3 (EGLN3、別名 PHD3) と相互作用し、低酸素誘導因子 1 の発現を制御します。スプライソソームの一部として精製されています。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2009年10月]、機能: 様々な多量体タンパク質複合体の分子足場タンパク質。ERK 経路の多成分足場の組み立てにおいて、ERK 応答を特定のアゴニストに結び付けるモジュールとして機能します。低濃度では ERK 活性化を促進しますが、高濃度では ERK 活性化を阻害します。また、EGLN3/PHD3 との相互作用を介して HIF1A/HIF-1- α の負の調節因子として作用し、低酸素への反応に関与しています。HIF1A の分解を促進する可能性があります。特定の上流活性化因子にシグナル伝達複合体をリクルートすることによって作用する可能性があります (類似性による)。また、pre-mRNA スプライシングに関与している可能性があります。類似性: WD リピート MORG1 ファミリーに属します。類似性: 7つのWDリピートを含みます。細胞内局在: 主に細胞質内 (類似性による)。部分的に核内。サブユニット: EGLN3/PHD3 と相互作用します。ERK シグナル伝達タンパク質 MAP2K1/MEK1、MAP2K2/MEK2、MAP2K1IP1/MP1、ARAF/Raf-1、MAPK1/ERK2、および MAPK3/ERK1 と相互作用します (類似性による)。スプライソソーム C 複合体に同定され、少なくとも AQR、ASCC3L1、C19orf29、CDC40、CDC5L、CRNKL1、DDX23、DDX41、DDX48、DDX5、DGCR14、DHX35、DHX38、DHX8、EFTUD2、FRG1、GPATC1、HNRPA1、HNRPA2B1、HNRPA3、HNRPC、HNRPF、HNRPH1、HNRPK、HNRPM、HNRPR、HNRPU、KIAA1160、KIAA1604、LSM2、LSM3、MAGOH、MORG1、PABPC1、PLRG1、PNN、PPIE、PPIL1、PPIL3、PPWD1、PRPF19、PRPF4B、PRPF6、PRPF8、RALY、RBM22 から構成されています。RBM8A、RBMX、SART1、SF3A1、SF3A2、SF3A3、SF3B1、SF3B2、SF3B3、SFRS1、SKIV2L2、SNRPA1、SNRPB、SNRPB2、SNRPD1、SNRPD2、SNRPD3、SNRPE、SNRPF、SNRPG、SNW1、SRRM1、SRRM2、SYF2、SYNCRIP、TFIP11、THOC4、U2AF1、WDR57、XAB2、および ZCCHC8。

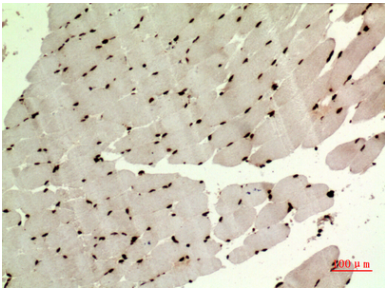
研究分野

-

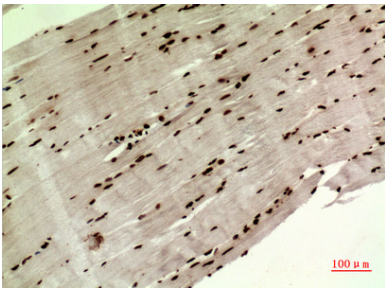
画像データ



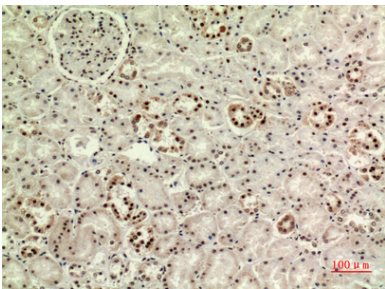
MAPK Organizer 1 ポリクローナル抗体を用いた MCF7 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



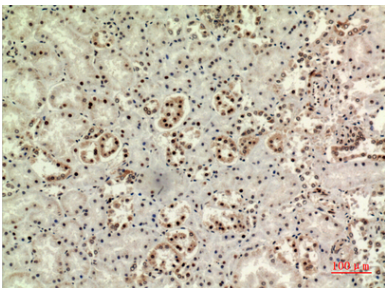
パラフィン包埋ヒト筋肉の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



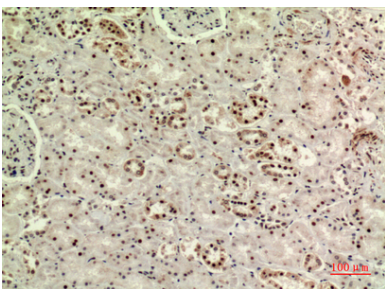
パラフィン包埋ヒト筋肉の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された